

編集後記

今年度最初の広報をお届けします。

センターからの報告にもありますように、本学の計算機は様々な分野の人々が使うようになり、利用者也毎年増大の一途をたどっています。特に、人文、社会科学系の利用者が増えております。このことは、計算機に対する必要性はもちろんですが、新しいソフト、例えば日本語入力、A T F、S A Sなどが導入されたこともその要因の一つと考えられます。

本号は年報の性格を持ったものであり、上記のソフトについての解説などはほとんど割愛してあります。しかし、日本語入力については事例紹介という形で、利用者の立場から書かれたものが載っておりますので、是非御一読下さい。この広報の原稿も日本語入力によるもので、原稿の中には複雑な図や数式が含まれているものもありますが、それらもほとんどすべてをA T Fなどのソフトを組合せて入力してあります。その業務に携わった計算機センターの方々に改めて感謝致します。

次号以降では、上記のソフトの特集号を編集しますので、どうぞ御期待下さい。

(K. T)

